

令和6年度 幼保小の連携・接続に関する実態調査について 〔調査結果〕

令和6年10月
山梨県教育庁義務教育課

1. 実態調査の趣旨

文部科学省は令和4年3月31日付けで「幼保小の架け橋プログラムの実施にむけての手引き(初版)」を示した。山梨県教育委員会では、これに基づき、「山梨県教育振興基本計画(令和6年度～令和10年度)」において、「幼児教育と小学校教育との円滑な接続に向けた取り組みの推進」、「スタートカリキュラムの充実を図り、児童が幼児期の学びや育ちを踏まえ、主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことができる取り組みの推進」等を明記した。その成果指標として幼保小の円滑な接続を図るため、「幼保小の架け橋プログラム」に基づくスタートカリキュラムの編成、実施、評価、改善等について目標値が設定されている。

今後5年間の取組内容や方法を検討するうえで、県内の幼児教育施設、小学校及び各市町村教育委員会等の現状を把握するため幼保小の連携・接続についての実態調査を行う。

調査後、その結果を活かし、幼保小連携事業の現状と課題について考察するとともに、課題解決に向けた新たな取組につなげる。

2. 調査対象

(1) 幼児教育施設(274)

○幼稚園・保育所・認定こども園

(2) 小学校(181)

○国公立小学校・私立小学校・県立特別支援学校小学部

(3) 市町村教育委員会(27)

(4) 市町村子育て支援関係課(27)

3. 実施期間

令和6年7月5日～7月31日

4. 調査票配布・回収方法

校務支援システム又は電子メール

5. 調査票の回答状況

■ 幼児教育施設(274)

| | 配布数 | 回答数 | 回答率 |
|--------------|-----|-----|-----|
| 幼稚園 | 26 | 21 | 81% |
| 保育所(分園2園を含む) | 140 | 84 | 60% |
| 認定こども園 | 108 | 69 | 64% |
| 合計 | 274 | 174 | 64% |

■ 国公立小学校・特別支援学校(181)

| | | | |
|----------|-----|-----|------|
| 公立小学校 | 166 | 166 | 100% |
| 国立小学校 | 1 | 1 | 100% |
| 私立小学校 | 4 | 4 | 100% |
| 県立特別支援学校 | 10 | 10 | 100% |
| 合計 | 181 | 181 | 100% |

■ 市町村教育委員会(27)

| | | | |
|----------|----|----|------|
| 市町村教育委員会 | 27 | 27 | 100% |
|----------|----|----|------|

■ 市町村子育て支援関係課(27)

| | | | |
|----------|----|----|------|
| 子育て支援関係課 | 27 | 27 | 100% |
|----------|----|----|------|

＜設問一覧：幼児教育施設＞

設問1 市町村名を記入してください。

設問2 園・所名をお答えください。

設問3 【全員回答】5歳児カリキュラムを作成していますか。

- | |
|-----------|
| ① 作成している |
| ② 作成していない |

設問4 【設問3で②を選択した方のみ回答】「作成していない」理由を書いてください。

設問5 【設問3で①を選択した方のみ回答】
5歳児カリキュラムは「幼保小の架け橋プログラム」に基づく内容となっていますか。

- | |
|--|
| ①「幼保小の架け橋プログラム」に基づく内容となっている |
| ②「幼保小の架け橋プログラム」に基づく内容に沿うよう現在作成中 |
| ③現在は「幼保小の架け橋プログラム」に基づく内容となっていないが、今後作成予定→問10以降へ |
| ④「幼保小の架け橋プログラム」に基づく内容となっておらず、今後も作成予定はない→問10以降へ |

設問6 【問5で①を選択した方のみ回答】
幼保小の連携・協働に基づいて作成した5歳児カリキュラムについて実施、評価、改善を行っていますか。

- | |
|------------------------|
| ①いずれも行っていない(作成のみ) |
| ②カリキュラムを実施した |
| ③カリキュラムの実施、評価を行っている |
| ④カリキュラムの実施、評価、改善を行っている |

設問7 【問5で①または②を選択した方のみ回答】
幼保小の連携・協働に基づいて作成した5歳児カリキュラムの作成においては、どのような組織で協議を行いましたか。

- | |
|----------------|
| ①小学校区を基本にした組織 |
| ②中学校区を基本にした組織 |
| ③市町村単位を基本にした組織 |
| ④その他 |

設問8 【問5で①または②を選択した方のみ回答】
問7の組織に関わった(関わっている)人は誰ですか。(複数回答可)

- | |
|---------|
| ①小学校管理職 |
| ②小学校教諭 |
| ③園・所管理職 |
| ④園・所保育者 |
| ⑤行政担当 |
| ⑥その他 |

設問9 【問8で⑤と回答した方のみ回答】担当課を記入してください。

設問10 【問5で③または④を選択した方のみ回答】
「幼保小の架け橋プログラム」に基づく内容となっていない理由をお答えください。(複数回答可)

- | |
|---------------|
| ①多忙で作成時間がとれない |
| ②作成方法がわからない |
| ③作成する必要性を感じない |
| ④その他 |

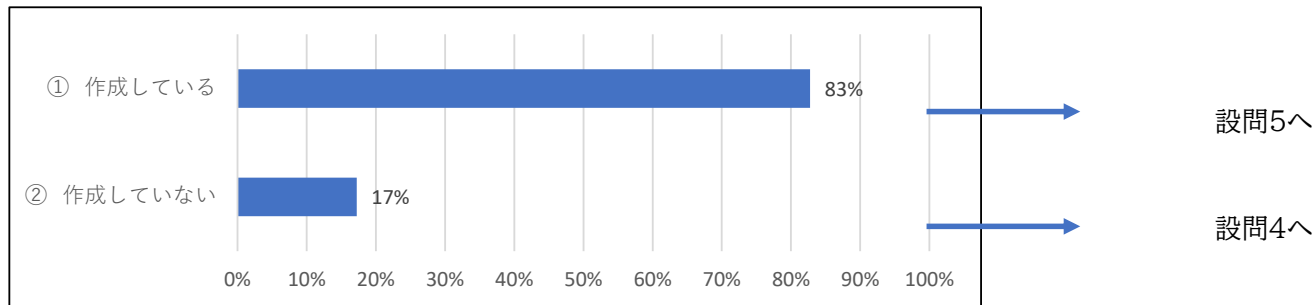
設問11 【全員回答】幼保小の連携・接続を進めるにあたり、窓口となる担当者はいますか。

- | |
|-------|
| ① いる |
| ② いない |

設問12 【設問11で①を選択した方のみ回答】 担当者の職名を記入してください。

＜調査集計結果：幼児教育施設＞

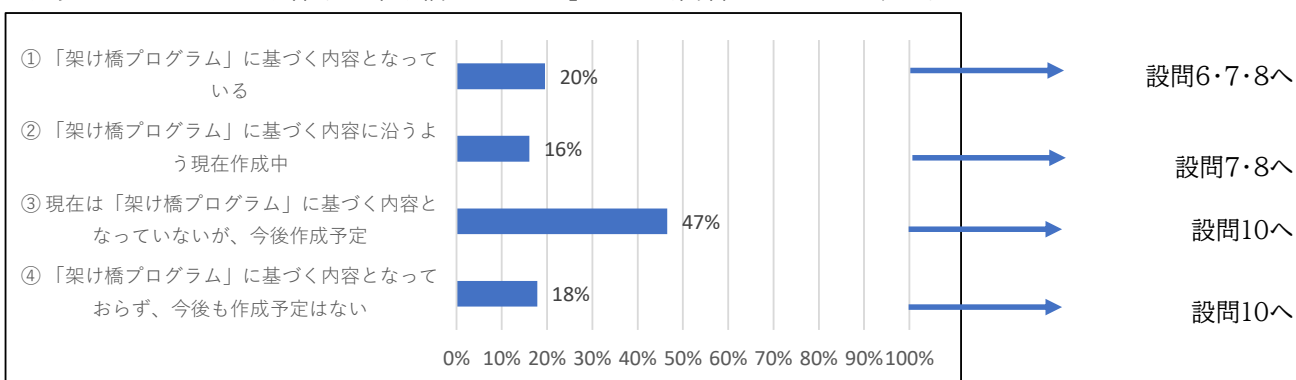
設問3 【全員回答】5歳児カリキュラムを作成していますか。



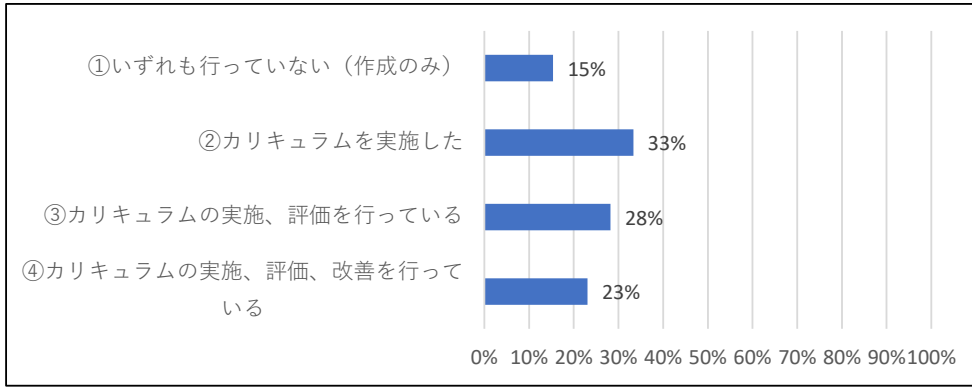
設問4 【設問3で②を選択した方のみ回答(30園)】「作成していない」理由を書いてください。

| |
|--|
| 年齢に沿った保育指導計画を作成しているため。(5) |
| 作成したいが体制が整わず難しいため。(5) |
| 今後、開発会議を実施、あるいはカリキュラムを作成する予定。(4) |
| 作成形式等方法がよくわからないため。(3) |
| 5歳児の在籍がないため。(3) |
| 多忙で作成時間がとれないため。(2) |
| カリキュラムの存在を知らなかったため。(2) |
| 日常的に就学に向けての活動を実施しているがカリキュラムを作成はしていない。(2) |

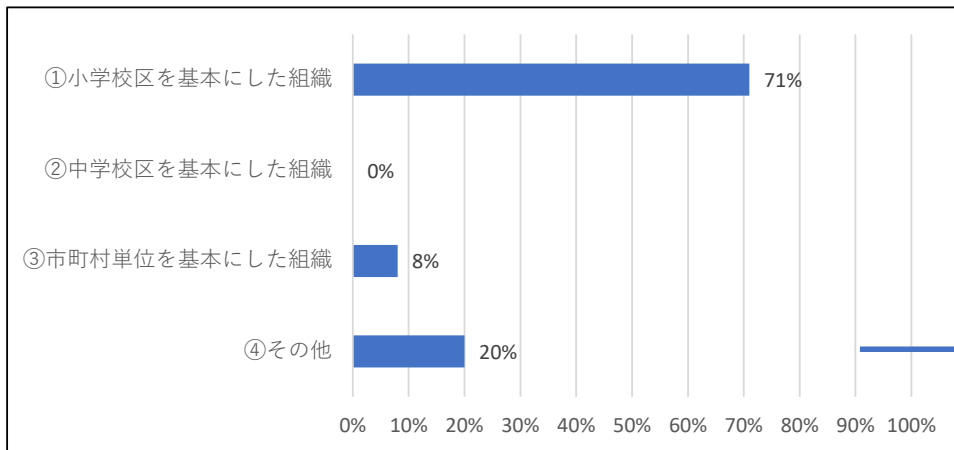
設問5 【全員回答】
5歳児カリキュラムは「幼保小の架け橋プログラム」に基づく内容となっていますか。



設問6 【問5で①を選択した方のみ回答(34園)】
 幼保小の連携・協働に基づいて作成した5歳児カリキュラムについて実施、評価、改善を行っていますか。

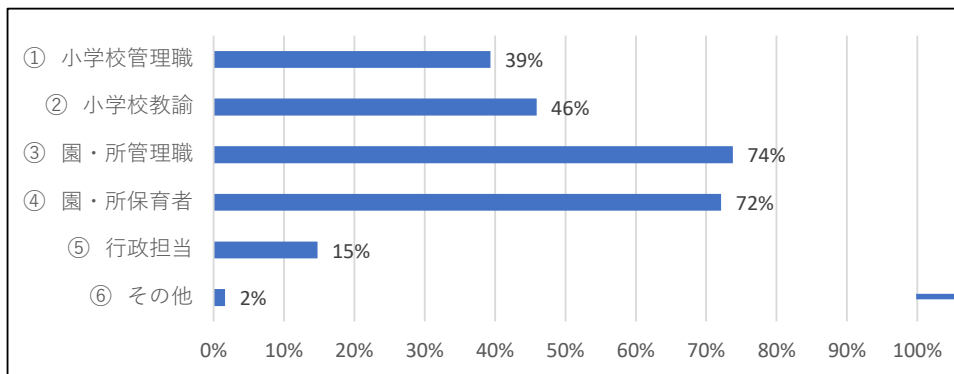


設問7 【問5で①または②を選択した方のみ回答(62園)】
 幼保小の連携・協働に基づいて作成した5歳児カリキュラムの作成においては、どのような組織で協議を行いましたか。



<注>
 ④その他と回答したうち
 ・園内で協議－8園
 ・地域の幼保小連絡協議会で協議－3園

設問8 【問5で①または②を選択した方のみ回答(62園)】
 問7の組織に関わった(関わっている)人は誰ですか。(複数回答可)

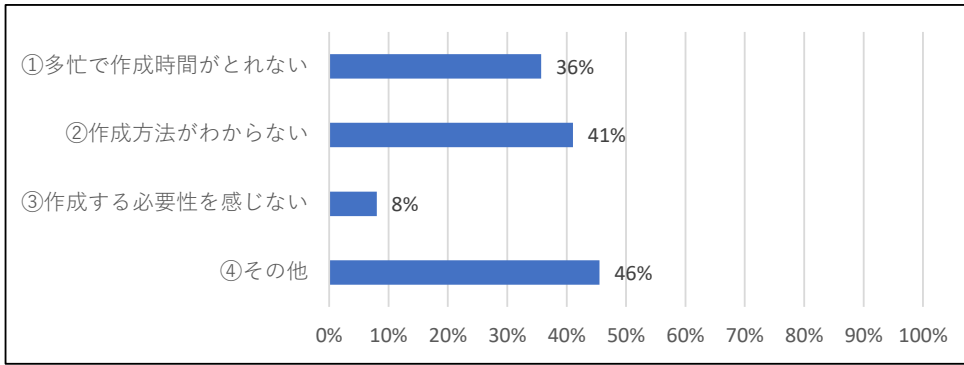


設問9へ

設問9 【問8で⑤と回答した方のみ回答(9園)】担当課を記入してください。

| | |
|--------------|----|
| 教育委員会 | 3件 |
| 保育課 | 2件 |
| 教育総務課と子育て支援課 | 1件 |
| やまなし幼児教育センター | 1件 |

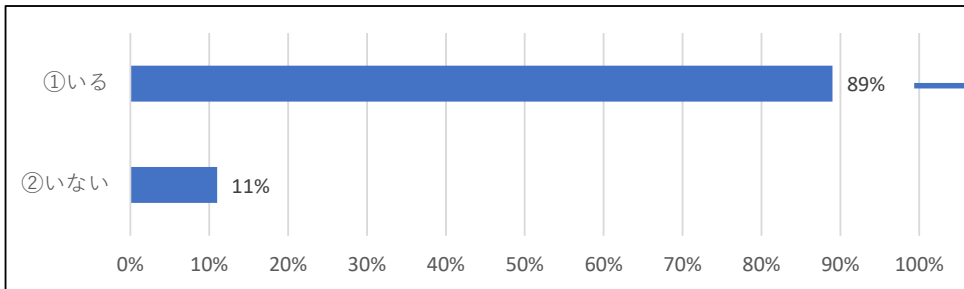
設問10 【問5で③または④を選択した方のみ回答(112園)】
 「幼保小の架け橋プログラム」に基づく内容となっていない理由をお答えください。(複数回答可)



④その他(自由記述)

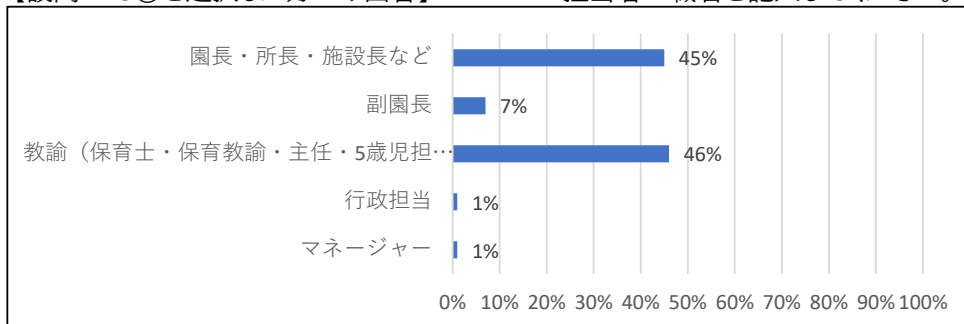
小学校の協力が得られない。
 交流はできているが、「架け橋プログラム」として作成していない。
 市教育委員会との連携がとれていない。
 小学校と並行して動くものだと思っているから。
 そもそも小学校や中学校教育が遅れをとっているし、教員のレベルを底上げする必要がある。多様性を認め、主体性を高めるといいながら、学校教育はそれを育む教育や教室になっていない。学校教育を見直し、幼児教育の終わりまでに育ててほしい姿を見つめ直す時がきているのだと思う。各幼少期施設は学校教育を飛び越えて教育をしているわけではなく、子どもの能力が既に飛び越えているのが現状なのだから。
 就学準備のための園生活としたいくないが架け橋プログラムに係わる内容を記載すると就学準備がより強調されてしまうことに懸念を抱いている。
 現在の保育指導計画が小学校以降の教育を見通した内容で作成してあるため。
 園独自のカリキュラムはあり交流や協議会を行っているが、小学校と協働しての編成にはなっていない。
 園児の資質上、独自の指導を行っているため。

設問11 【全員回答】幼保小の連携・接続を進めるにあたり、窓口となる担当者はいますか。



設問12へ

設問12 【設問11で①を選択した方のみ回答】 担当者の職名を記入してください。



1. 回答率(64%)から、幼保小の連携・接続についての周知が十分ではないことが推測される。

2. 作成されている5歳児カリキュラムのうち約半数が「幼保小の架け橋プログラム」に基づいていない。

◆設問3・設問5から

設問3で、83%が、5歳児カリキュラムを作成していたが、設問5では、そのうち約半数が「『幼保小の架け橋プログラム』に基づく内容となっていないため今後作成予定」と回答している。5歳児カリキュラムを作成している園・所の約半数が「幼保小の架け橋プログラム」に基づいていないと回答している。

3. 現状において「幼保小の架け橋プログラム」についての理解が十分になされてはいないことが読み取れる。

◆設問5・設問8から(表1より)

表1は、「幼保小の架け橋プログラム」に沿った5歳児カリキュラムを作成、または、現在作成中(設問3で①あるいは②と回答)である幼児教育施設において、その作成に関わった人について(設問8)、回答から組織別の割合を表したものである。

設問5の結果では、「幼保小の架け橋プログラム」に沿った5歳児カリキュラムを作成または、現在作成中であるのは、全体の36%(62園)である。そのうち、39%の園・所が幼児教育施設のみで作成をしていると答えている(表1)が、これは「『幼保小の架け橋プログラム』に基づいた」という点から考えると矛盾している結果だといえる。

この結果から、現状において「幼保小の架け橋プログラム」についての理解が十分になされてはいないことが読み取れる。

表1:カリキュラム作成にかかわった人

| | |
|--------------------------------|-----|
| A:③か④ 幼児教育施設のみが関わった | 39% |
| B:①か②かつ③か④ 幼保小が関わった | 44% |
| C:①か②かつ③か④かつ⑤ 幼保小に加え行政が関わった | 13% |
| D:その他・該当なし | 5% |

4. カリキュラム作成を作成する際には、小学校区が取り組みやすく、課題としては、作成時間の確保、また作成方法があげられている。

◆設問7・設問10から

設問7で、小学校学区を基本としてカリキュラムを作成、あるいは今後作成する予定と回答している園・所が70%を超える。設問10では、作成時間の確保や作成方法が課題とされている。

<設問一覧：小学校>

設問1 市町村名を記入してください。

設問2 学校名

設問3 【全員回答】スタートカリキュラムは「幼保小の架け橋プログラム」に基づく内容となっていますか。

- | |
|----------------------|
| ①プログラムに沿っている |
| ②プログラムに沿うよう現在作成中 |
| ③今後作成予定 →設問11以降へ |
| ④今後も作成予定はない →設問11以降へ |

設問4 【設問3で①を選択した方のみ回答】
幼保小の連携・接続に基づいたスタートカリキュラムについて実施、評価、改善を行っていますか。

- | |
|-------------------|
| ①いずれも行っていない(作成のみ) |
| ②実施した |
| ③実施、評価を行った |
| ④実施、評価、改善を行った |

設問5 【設問3で②を選択した方のみ回答】カリキュラム作成作業が完了するのは、いつ頃の予定ですか。

- | |
|----------|
| ①令和6年度中 |
| ②令和7年度中 |
| ③令和8年度以降 |

設問6 【設問3で①または②を選択した方のみ回答】幼保小の連携・接続に基づいたスタートカリキュラムの作成において、どのような組織で協議を行いましたか。(協議していますか。)

- | |
|----------------|
| ①小学校区を基本にした組織 |
| ②中学校区を基本にした組織 |
| ③市町村単位を基本にした組織 |
| ④その他 |

設問7 【設問6で④を選択した方のみ回答】具体的に記述してください。

設問8 【設問3で①または②を選択した方のみ回答】設問6の組織に関わった(関わっている)人は誰ですか。(複数回答可)

- | |
|---------|
| ①小学校管理職 |
| ②小学校教諭 |
| ③園・所管理職 |
| ④園・所保育者 |
| ⑤行政担当 |
| ⑥その他 |

設問9 【設問8で⑤を選択した方のみ回答】担当課を記述してください。

設問10 【設問8で⑥を選択した方のみ回答】具体的に記述してください。

設問11 【設問3で③または④を選択した方のみ回答】「幼保小の架け橋プログラム」に基づく内容となっていない理由をお答えください。(複数回答可)

- | |
|---------------|
| ①多忙で作成時間がとれない |
| ②作成方法がわからない |
| ③作成する必要性を感じない |
| ④その他 |

設問12 【設問11で④を選択した方のみ回答】具体的に記述してください。

設問13 【全員回答】幼保小の連携・接続を進めるにあたり、学校の窓口となる担当者はいますか。

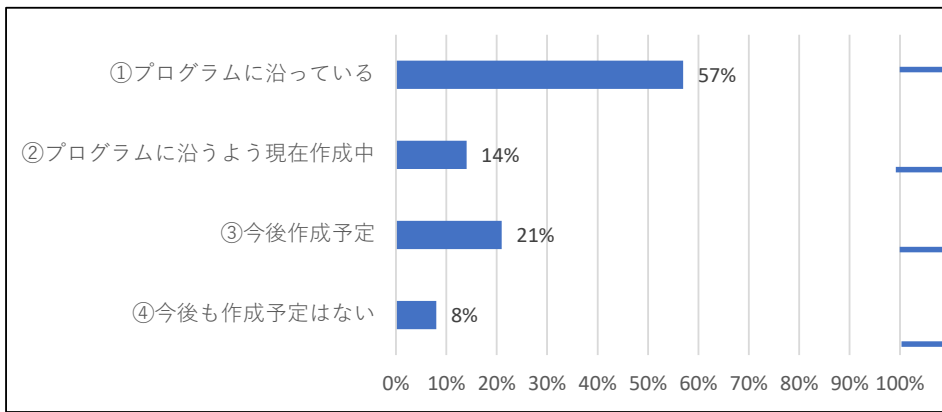
- | |
|-------|
| ① いる |
| ② いない |

設問14 【設問13で①を選択した方のみ回答】 担当者の職名を記入してください。

< 調査集計結果：小学校 >

設問3 【全員回答】

スタートカリキュラムは「幼保小の架け橋プログラム」に基づく内容となっていますか。



設問4・6へ

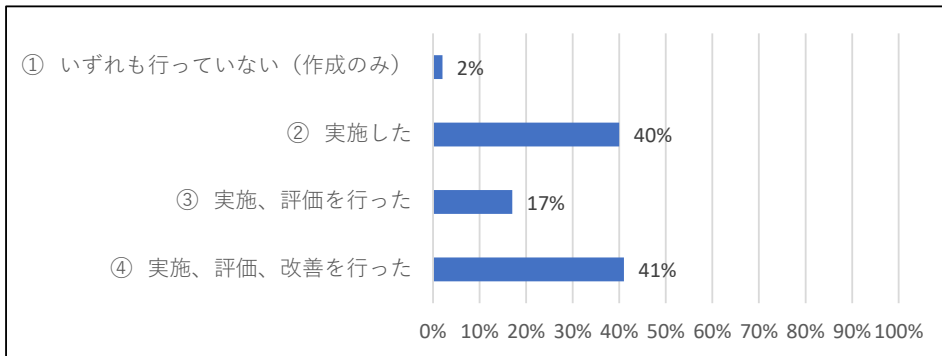
設問5・6へ

設問11へ

設問11へ

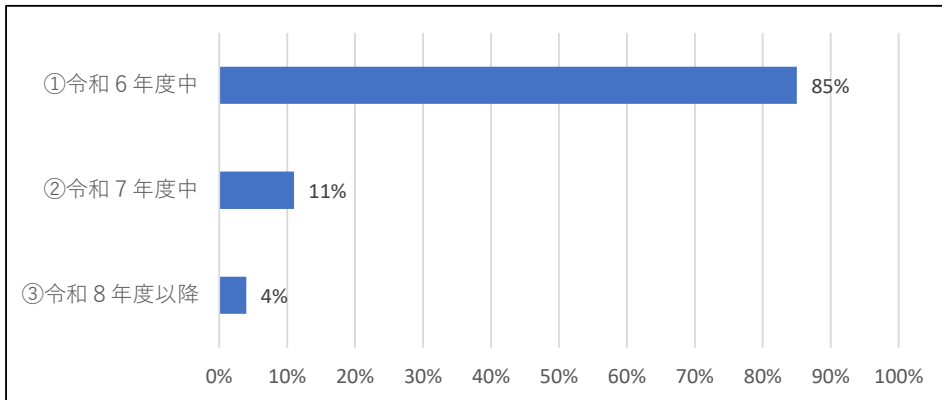
設問4 【設問3で①を選択した方のみ回答(104校)】

幼保小の連携・接続に基づいたスタートカリキュラムについて実施、評価、改善を行っていますか。



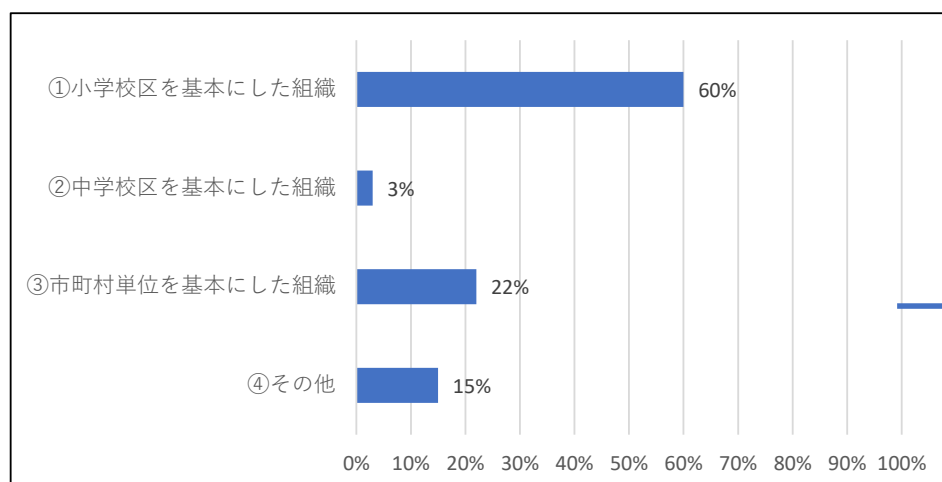
設問5 【設問3で②を選択した方のみ回答(26校)】

カリキュラム作成作業が完了するのは、いつ頃の予定ですか。



設問6 【設問3で①または②を選択した方のみ回答(130校)】

幼保小の連携・接続に基づいたスタートカリキュラムの作成において、どのような組織で協議を行いましたか。(協議していますか。)

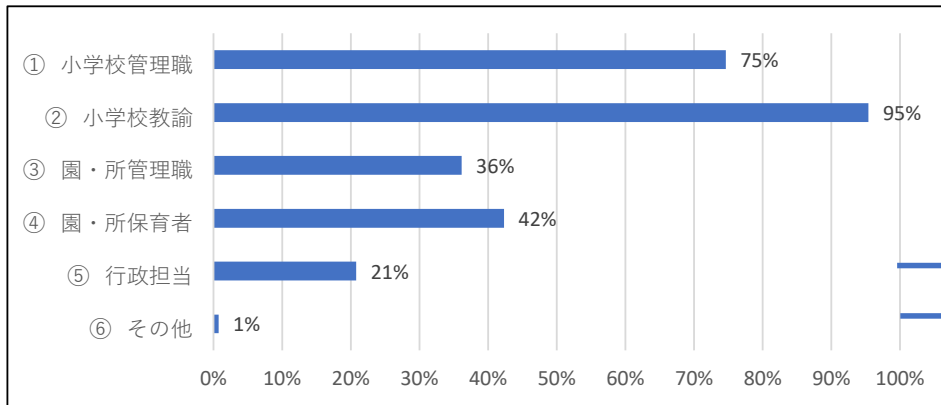


設問7へ

設問7 【設問6で④を選択した方のみ回答】 具体的に記述してください。

| |
|---|
| 自校で作成(8) |
| 学区以外の幼稚園等と連携している。 |
| 小学校区の保幼と連携する中で検討しているが、組織には至っていない。 |
| 児童の卒園した幼保こども園の先生方に授業を参観していただき、幼保小連携の課題について話し合いを行った。 |

設問8 【設問3で①または②を選択した方のみ回答】
設問6の組織に関わった(関わっている)人は誰ですか。(複数回答可)



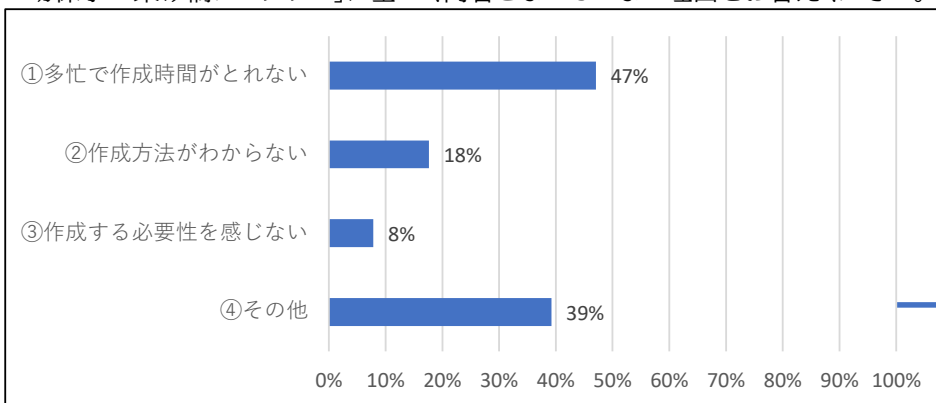
設問9へ
設問10へ

設問9 【設問8で⑤を選択した方のみ回答】 担当課を記述してください。

| | |
|--------------|-----|
| 子育て支援課(政策課) | 2件 |
| 市町村教育委員会(関連) | 25件 |
| 教育委員会・福祉課 | 2件 |

設問10 【設問8で⑥を選択した方のみ回答】 具体的に記述してください。
・各保育所を訪問し、次年度入学児童の様子の情報交換を行っている。

設問11 【設問3で③または④を選択した方のみ回答(51校)】
「幼保小の架け橋プログラム」に基づく内容となっていない理由をお答えください。(複数回答可)

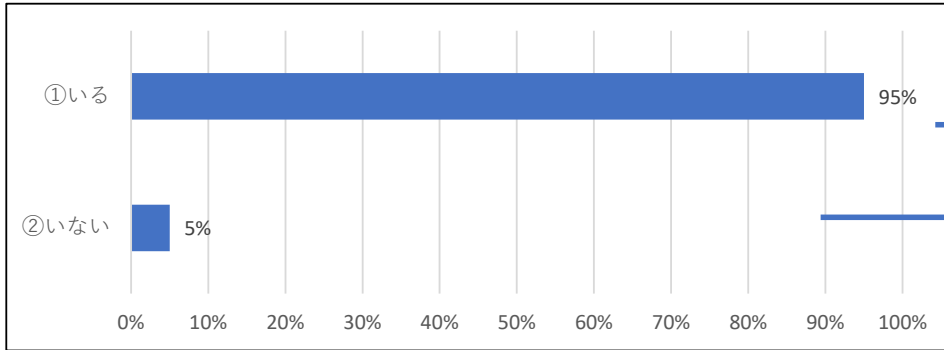


設問12へ

設問12【設問11で④を選択した方のみ回答(20校)】具体的に記述ください。

| |
|---|
| ◆作成したいが体制が整わず難しいため(8) |
| ・入学児童の卒園した保育園や幼稚園が地域の園以外に数多くあり、連携・協働することが難しいため。 |
| ・小学校としてはスタートカリキュラムを作成しているが、スタートカリキュラムを共通のツールとして保育園との連携がなかなか進めない。別の形では連携はできている。 |
| ・市教委主催の保幼小連携会議や就学時についての情報交換を行っているが、幼保小の架け橋プログラムについて幼稚園、保育園と協議することは、双方の勤務体制の違いもあり進めていくことが難しい。進めるためには、双方をつなぐコーディネーターを設ける必要があると思う。 |
| ・推進体制や必要な人材の育成、人材確保の整備等の改善が進められていないと感じている。また、自治体との連携や一体的に推進する体制が構築されていない。 |
| ・架け橋プログラムに基づくスタートカリキュラム作成のための合同研究会が発足したら作成する予定。 |
| ・小学校生活への適応プログラムについては、概ねの内容で作成はしている。本校への就学予定児童の保育所、保育園、幼稚園等の数が多く、多市町村に渡るため、本校のみでの連携協力体制の構築には厳しさがある。幼保小の架け橋プログラムに基づく内容とするためには、校区外、他市町村まで広げた連携協力体制の整備に向けた取り組みが必要であると思う。 |
| ・組織作りができていないから。 |
| ・関係者が合同の研究会等をもち、協議する中で作成したものではない。 |
| ◆個別支援計画等、代わるものがあるため(8) |
| ①村内で保小中の連絡協議会や保育所訪問(1年担任・管理職が児童の様子を把握する)を実施しており、5歳児以下も含め保育所の指導の内容や児童一人ひとりについての個別に詳しい情報交換を行っているため。 |
| ②小規模校で一人の職員が多くの分掌を兼任している実態があり、幼保小の架け橋プログラムに基づく新たなカリキュラム作成が職員への大きな負担になるため。 |
| ③入学後に配慮が必要と考えられる児童には、事前情報によって個別対応の準備をし、円滑に教育活動が進められている実績があるから。 |
| ・特別支援教育の関係でサポートノートや個別の教育支援計画等を作成し、円滑な移行や連携に努めているから。(特別支援学校) |
| ・本校では、人やものとの関わりを通じた学びを踏まえたカリキュラムの開発、幼児期から児童期の発達を見通しつつ個に応じた教育方法、その改善等に努めており、幼児期の教育と小学部教育の円滑な接続を図るため、障害の状態等に応じた教育課程の編成及び個別の指導計画の作成を行っている。また、児童一人一人に対して、必要な関係者会議を開催するなど、関係者間の情報の共有や関係機関との連携も図っている。(特別支援学校) |
| ・幼保小の架け橋プログラムとは違うが、小学部入学時に関係者から個別に聞き取りを行い、個別の教育支援計画作成に活かしているため。(特別支援学校) |
| ・園や保護者からの聞き取り、サポートノートの活用をしているため。(特別支援学校) |
| ・少人数のため、入学初期の指導を一人一人に合わせて行うことができる。そのため、作成の必要性を感じず、これまでは作成していなかった。 |
| ・本校は児童自立支援施設に併設された分校で、他校のような保幼小の連携を取る形ではないため。 |
| ・該当しない。(特別支援学校) |
| ◆現在、取り組み始めているため(7) |
| ・小学校区のこども園園長と年長担任、小学校教頭で相談しスムーズに入学できるような取組を考え始めている。保護者も巻き込みながら、年長児が小学校1年生の体験をできるように、検討をしている。この先こども園と相談し合う機会は多くなると予想されるので、幼保小の架け橋プログラムを意識して考えていきたいと思う。 |
| ・「幼保小の架け橋プログラム」に基づいたスタートカリキュラムのあり方や作成の進め方等について検討中。 |
| ・架け橋期のカリキュラム開発会議の準備中。 |
| ・現在、幼保小の架け橋プログラム作成に向けて準備中である。 |
| ・架け橋期のカリキュラム開発会議の準備中だから。 |
| ・スタートカリキュラムを昨年度末見直した時、「幼保小の架け橋プログラム」を意識していなかった。(今年度スタートアップカリキュラムを見直す予定) |
| ・「幼保小の架け橋プログラム」のカリキュラム開発会議を準備中。 |
| ◆見直しを行っていないため(1) |
| ・一度作成したまま見直しを行ってこなかった。年度ごとに見直しを行っていききたい。 |
| ◆市町村で統一されたプログラムがあるため(1) |
| ・富士吉田市の研究会で作成した統一のプログラムを使用しているため。 |

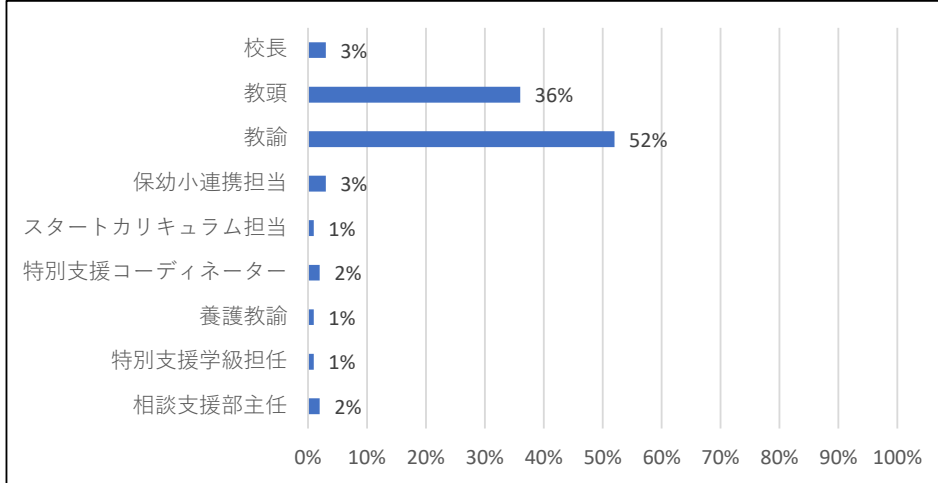
設問13 【全員回答】幼保小の連携・接続を進めるにあたり、学校の窓口となる担当者はいますか。



設問14へ

<注>
「②いない」と回答したのは、公立5校、私立1校、支援学校1校

設問14 【設問13で①を選択した方のみ回答】 担当者の職名を記入してください。(複数回答可)



1. 現状において「幼保小の架け橋プログラム」についての理解が十分になされていないことが読み取れる。

◆設問3・設問8から(表2より)

表2は、「幼保小の架け橋プログラム」に沿ったスタートカリキュラムを作成、または、現在作成中(設問3で①あるいは②と回答)である小学校において、その作成に関わった人について(設問8)、組織別の割合を示したものである。

設問3の結果では、「幼保小の架け橋プログラム」に沿ったスタートカリキュラムを作成または、現在作成中であるのは、全体の71%(130校)である。そのうち、約半数、57%の小学校が校内のみで作成をしていると答えている(表1)が、これは『『幼保小の架け橋プログラム』に基づいた』という点から考えると矛盾している結果だといえる。

この結果から、現状において「幼保小の架け橋プログラム」についての理解が十分になされていないことが読み取れる。

表2:カリキュラム作成にかかわった人

| | |
|--------------------------------|-----|
| A:①か② 小学校のみ関わった | 57% |
| B:①か②かつ③か④ 幼保小が関わった | 27% |
| C:①か②かつ③か④かつ⑤ 幼保小に加え行政が関わった | 13% |
| D:その他・該当なし | 3% |

2. 作成に前向きではあるものの、作成方法や体制構築などの課題がある。

◆設問3・設問11・設問12から

設問3で「幼保小の架け橋プログラム」に沿ったカリキュラムを今後作成する予定(21%)、作成する予定はない(8%)と回答した51校のうち、約半数が多忙で時間が取れないことを理由に挙げている。また、作成方法がわからない、作成したいが体制が整わず難しいといった課題も挙がっている。(設問11、設問12)

多くの学校で前向きに作成しようと考えているものの、具体的な取組の方法について何らかの課題を抱えていることが読み取れる。

3. 多くの学校において学校内の組織体制が整いつつある。

◆設問13・設問14から

設問13で、幼保小の連携・接続を進めていく、学校の窓口となる担当者がある、と95%と回答している。1年生の担任や学年主任を含む教諭が、その約半数を占めている。「幼保小連携担当」や「スタートカリキュラム担当」といった専門の担当を設けている学校もある。

多くの学校において、学校内の組織体制が整いつつあるといえる。

<設問一覧：市町村教育委員会>

設問1 市町村名を記入してください。

設問2 「幼保小の架け橋プログラム」を知っていますか。

| |
|--------|
| ①知っている |
| ②知らない |

設問3 幼保小の連携・接続に基づいた小学校でのスタートカリキュラム及び教育・保育施設の5歳児カリキュラムの作成・実施状況等について把握していますか。

| |
|---------------------|
| ①スタートカリキュラムのみ把握している |
| ②5歳児カリキュラムのみ把握している |
| ③どちらも把握している |
| ④どちらも把握していない |

設問4 「幼保小の架け橋プログラム」を進めるにあたり、窓口となる担当者はいますか。

| |
|------|
| ①いる |
| ②いない |

設問5 【設問4で①を選択した方のみ回答】担当者の担当課・担当名等を教えてください。

設問6 教育委員会や子育て担当課等の行政担当者と幼保小の関係者が参集する会議を開催していますか。

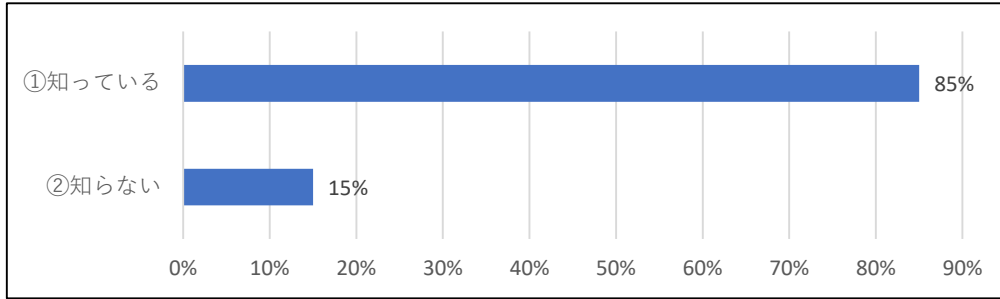
| |
|--------------|
| ① 開催している |
| ② 開催していない |
| ③ 今後開催の予定がある |
| ④ 開催の予定はない |

設問7 【設問6で①と選択した方のみ回答】
年間の開催回数を教えてください。

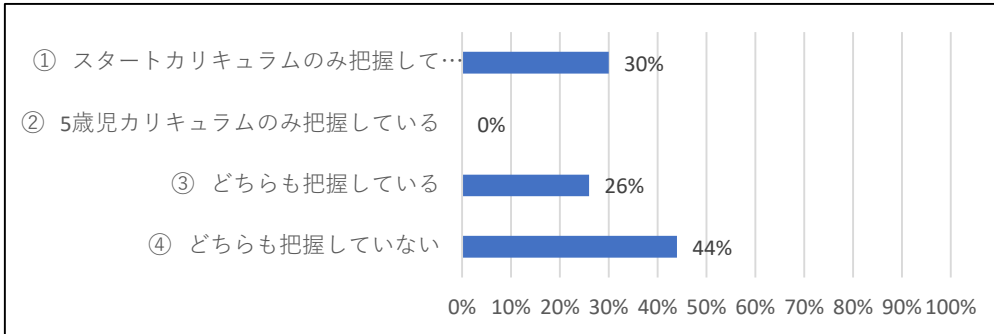
設問8 「幼保小の架け橋プログラム」を進めるにあたり、課題となるのはどのようなことですか。
(ご自由にお書きください。)

<調査集計結果:市町村教育委員会>

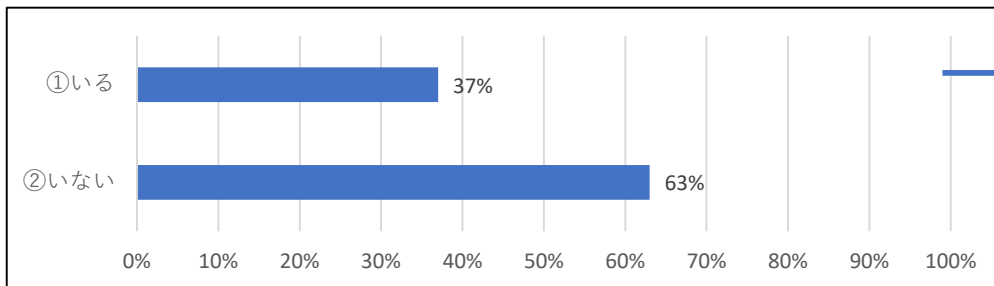
設問2 「幼保小の架け橋プログラム」を知っていますか。



設問3 幼保小の連携・接続に基づいた小学校でのスタートカリキュラム及び教育・保育施設の5歳児カリキュラムの作成・実施状況等について把握していますか。



設問4 「幼保小の架け橋プログラム」を進めるにあたり、窓口となる担当者はいますか。

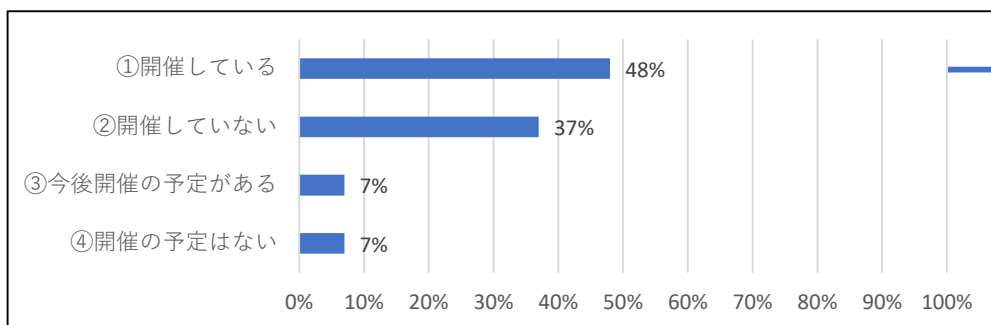


設問5へ

設問5 【設問4で①を選択した方のみ回答(10)】担当者の担当課・担当名等を教えてください。

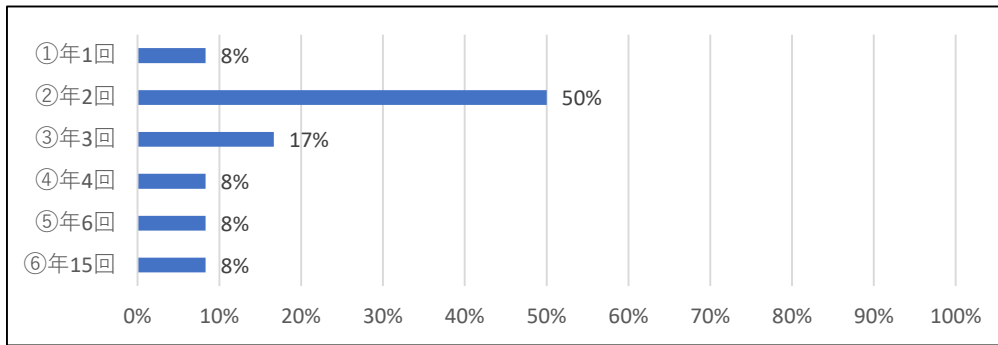
| |
|--------------|
| 教育推進監 |
| 市立教育研修所員 |
| 学校教育課・学校教育担当 |
| 学校教育課 教育指導係 |
| 学校教育課(3) |
| 教育総務課 指導監 |
| 教育総務課(2) |

設問6 教育委員会や子育て担当課等の行政担当者や幼保小の関係者が参集する会議を開催していますか。



設問7

設問7 【設問6で①と選択した方のみ回答】年間の開催回数を教えてください。



設問8 「幼保小の架け橋プログラム」を進めるにあたり、課題となるのはどのようなことですか。(ご自由にお書きください。)

| |
|---|
| ◆幼保小の共通理解(8) |
| 小学校のすべての教職員の共通理解 プログラムの理念に基づいた保育、授業の実践 |
| また、カリキュラム作成において、小学校低学年の先生は知っているが、全体としては知らない先生が多いという状況にあることも不安材料である。 |
| 施設ごとの考え方や意識の違い。 |
| 公立・私立などで保育方法の考え方の違いなどがあり、一度に就学前に参集した会議をもつことが難しい。 |
| 市としての架け橋のカリキュラムの作成を準備を進めているが、各園の保育指針や保育理念等に違いや各小学校の1年生の学年目標の違いなどがあり、なかなか市としてまとめられない。大きくまとめてしまうと形だけのものになってしまうのではないかという心配がある。 |
| 目指す子供像の共有にはじまり、多様な関係者の意見を反映させながら、汎用性のある土台となる考え方を築いていくことが課題となっている。また、幼児教育施設、小学校ともに多忙を極める現実の中で、大きな負担感がないように連携を進めることも課題となっている。 |
| CS活動などでも連携して事業を行っているので、小規模で顔見知りであるがゆえ、保小お互いに話は通りやすいと思います。 |
| 教員や保育士、幼稚園教諭の人材不足。 |
| ◆組織体制の整備(6) |
| 担当や窓口を、教育委員会または子育て支援課にすればいいのかが課題。 |
| 連携窓口や体制づくりなどを明確化していく。 |
| ・目的に沿った研修や会議を重ねて共通理解を深めていかなければならない。 |
| ・本市で現在すでに行っている幼保小連携の取り組み内容と重なる部分については、精査して一本化していく必要がある。 |
| 内容の周知をどのようにしていくか。小学校は横のつながりの情報がある程度揃えられるかもしれないが、保育園・こども園・幼稚園など多様な方針で行っている部分をつなげていく難しさはあると感じる。 |
| 各施設の人材不足。 |
| 学校も園も働き方改革が求められている中、日程調整や会場の確保、会議の内容、資料作りをどのように進めていくべきか検討が必要である。校長会のような組織を学校と園が合同で構築し、組織的に活動していけるよう体制を整えることが課題である。 |
| 担当課と幼保小の関係者等の密な連携、情報共有。 |

<調査集計結果から>

1. 「幼保小の架け橋プログラム」について周知はされてきているものの、取組に結びついている地域は少ない。

◆設問2・設問3から

「幼保小の架け橋プログラム」について、知っていると答えたのは85%であり、内容については周知されてきている。しかし、半数近く(44%)が、幼保小のカリキュラム内容について、把握していない。このことから、多くの市町村教育委員会において実際の取組にまでは結びついてはいることがわかる。

2. 市町村の担当者の有無が、「幼保小の架け橋プログラム」の会議開催に関係していることが推測される。

◆設問4・設問6から

設問4で、幼保小連携に関する担当者が配置されているのは37%(10件)である。そのほとんどの地域(8件)で、幼保小と行政の担当者による会議が開催、あるいは開催が予定されているが、担当者がいない地域では、全く開催されていない。(設問6)

3. 会議の開催は、市町村の規模に応じて開催回数が異なる傾向がみられる。

◆設問7

会議の開催については、年間2~3回(67%)が多い。また、市町村の規模によって開催回数が異なる傾向がみられる。

<設問一覧:市町村子育て支援関係課>

設問1 回答者の所属名(市町村名・課名)を記入してください。

設問2 「幼保小の架け橋プログラム」を知っていますか。

| |
|--------|
| ①知っている |
| ②知らない |

設問3 幼保小の連携・接続に基づいた小学校でのスタートカリキュラム及び教育・保育施設の5歳児カリキュラムの作成・実施状況等について把握していますか。

| |
|---------------------|
| ①スタートカリキュラムのみ把握している |
| ②5歳児カリキュラムのみ把握している |
| ③どちらも把握している |
| ④どちらも把握していない |

設問4 「幼保小の架け橋プログラム」を進めるにあたり、窓口となる担当者はいますか。

| |
|------|
| ①いる |
| ②いない |

設問5 【設問4で「いる」を選択した方のみ回答】
担当者の担当課・担当名等を教えてください。

設問6 教育委員会や子育て担当課等の行政担当者と幼保小の関係者が参集する会議を開催していますか。

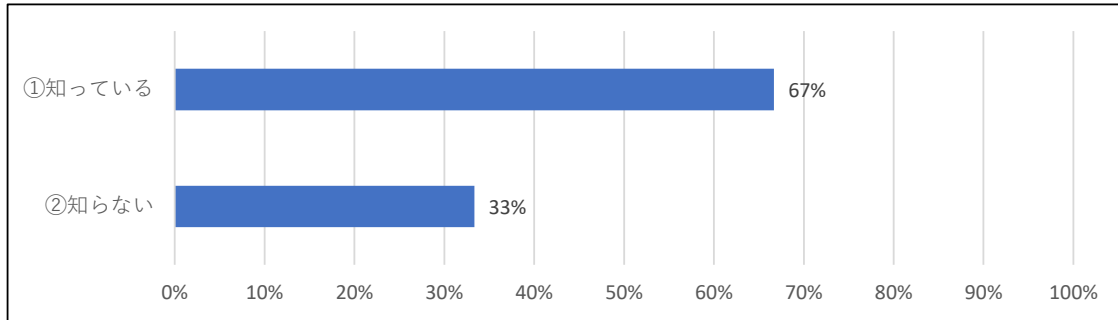
| |
|--------------|
| ① 開催している |
| ② 開催していない |
| ③ 今後開催の予定がある |
| ④ 開催の予定はない |

設問7 【設問6で①と選択した方のみ回答】年間の開催回数を教えてください。

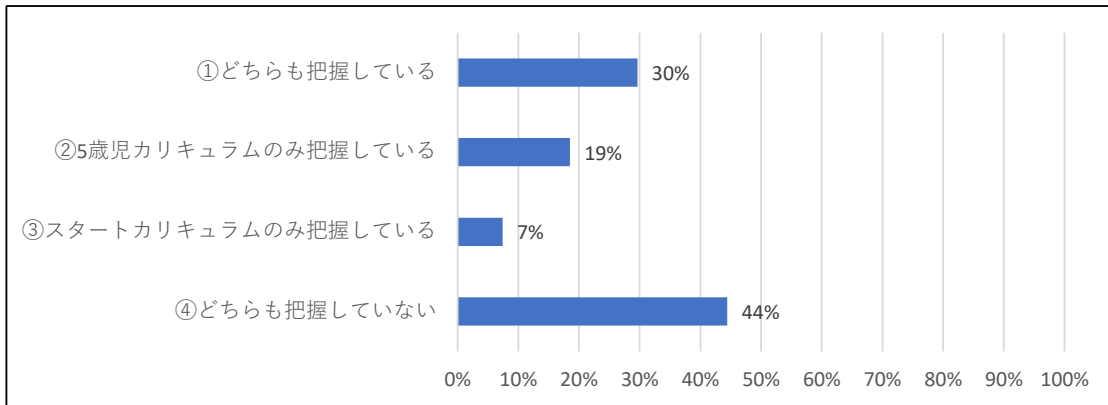
設問8 「幼保小の架け橋プログラム」を進めるにあたり、課題となるのはどのようなことですか。(ご自由にお書きください。)

＜調査集計結果：市町村子育て支援関係課＞

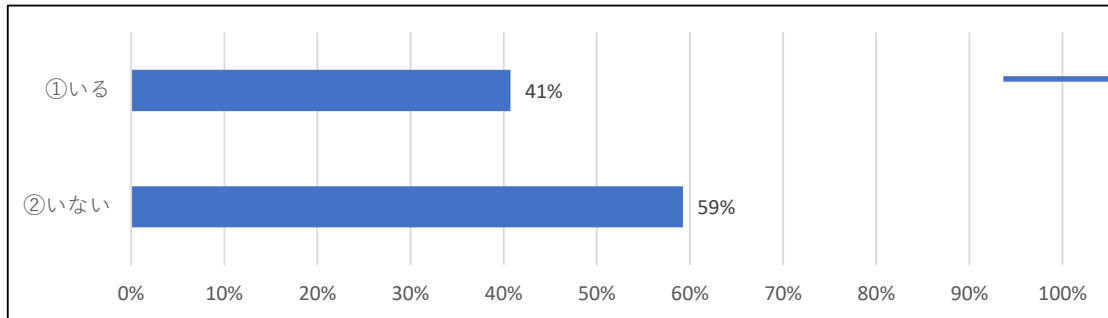
設問2 「幼保小の架け橋プログラム」を知っていますか。



設問3 幼保小の連携・接続に基づいた小学校でのスタートカリキュラム及び教育・保育施設の5歳児カリキュラムの作成・実施状況等について把握していますか。



設問4 「幼保小の架け橋プログラム」を進めるにあたり、窓口となる担当者はいますか。(21件中)

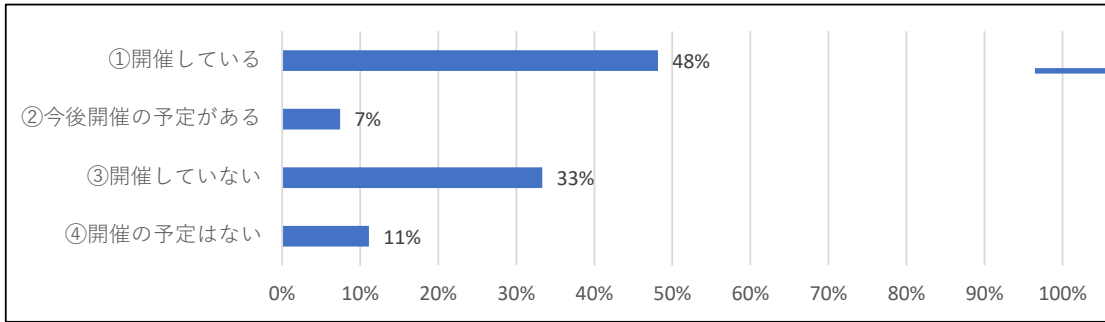


設問5へ

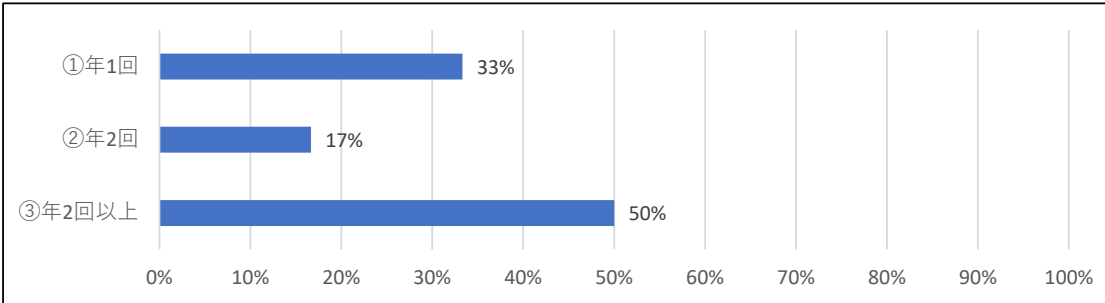
設問5 【設問4で「いる」を選択した方のみ回答】
担当者の担当課・担当名等を教えてください。

| | |
|--------------|---|
| 福祉保健課 | 2 |
| 保育課 | 1 |
| 子育て支援課 | 2 |
| 教育総務課 学校教育担当 | 2 |
| 住民生活課 児童担当 | 1 |
| 小学校校長、保育所長 | 1 |
| 教育委員会 | 1 |
| 住民健康課 | 1 |

設問6 教育委員会や子育て関係課等の行政担当者と幼保小の関係者が参集する会議を開催していますか。



設問7 【設問6で①と選択した方のみ回答】年間の開催回数を教えてください。(12件中)



設問8 「幼保小の架け橋プログラム」を進めるにあたり、課題となるのはどのようなことですか。(自由記述)

| |
|--|
| ◆幼児教育施設と小学校、双方の情報共有(8) |
| 小学校と保育園がお互いに日常の現場の子どもの姿や職員の取り組みに対する理解が浅いこと。話だけでなくもっと知るためにはどんな環境の中で過ごしているか知るために視察などを取り入れる必要があると思う。 |
| 保育園や学校関係者がお互いの施設の活動について詳しく話し、子供達の成長課題について定期的に話し合いを持つこと。 |
| 保育所から小学校へ行くにあたり出来ることのレベルの確認をしておきたいと思います。 |
| 情報共有。 |
| その年度ごとにおいて、子どもに違いがあるため一概には言えない。全般的に低年齢化しているとは思いますが、スタートカリキュラムにとっても時間をかけてくれていると思う。地域性もあるため情報交換を密にとることが必要だと思う。 |
| 子どもの姿を伝え合う機会が少ない。保育園と小学校が時間を合わせて話し合う必要が大切だと思います。 |
| 各園のカリキュラムの違い。 |
| お互いに忙しい毎日ですが連携がとれる機会が増えることを望みます。 |
| ◆地域で取り組む体制の構築(6) |
| 幼保小の架け橋プログラムに関わっている学校や職員はよいが、市全体で取り組んで行くのは難しさを感じる。 |
| 一園では教育委員会との連携を図ることは難しいので地域をあげて取り組めるように進めて欲しいです。 |
| 同じ町内の学校でもスタートカリキュラムをやっている所とやっていない所もあり、教育委員会が関わっていないように感じる。もっと学校と園が同じ研修を受けていく必要がある。 |
| 人材不足や認識不足といったところから、イニシアチブを取る担当課が不在であること、教育・保育施設と学校との連携。協議会の設置。 |
| 現場が主体(保育所や小学校)のため、行政が直接参加しても理解することに時間がかかる。 |
| ◆幼保小の架け橋プログラムへの理解、継続的な取組(4) |
| 幼保小の架け橋プログラムに必要な書類や進め方がこちらが理解している内容で良いのか不安があります。 |
| 地域により差が生じている。実際に幼保小の架け橋プログラムが活用されているのか実際に確認する機会が少ないと感じる。 |
| プログラムがあることは承知しているものの、マンパワー不足及び対象園児もいないため現時点では作成予定はないが、必要性に応じて検討していきたい。 |
| プログラムの継続にあたり、取り組みを主に進めていく5歳児担当保育士や1学年の担任教諭の移動に伴い、次年度に引継ぎされていないケースがあるので、人事に左右されず継続的に実施していける様、策が必要と考える。 |
| ◆保護者との連携(2) |
| 保護者含めでの連携。 |
| 幼保小の連携を取ることは、自治体の協力があれば可能だと思うが、保護者との連携も必要になってくるため、進めていくにあたり課題が生まれるのではないかと。 |
| ◆負担の増加 |
| 保育所の負担増が懸念される。 |

<調査集計結果から>

1. 「幼保小の架け橋プログラム」について周知はされてきているものの、取組に結びついている地域は少ない。

◆設問2・設問3から

本調査に回答した市町村のうち「幼保小の架け橋プログラム」について、知っていると答えたのは67%であり、内容については周知されてきている。しかし、そのうち、33%(6件)が幼保小のカリキュラム内容について把握していないと回答している。このことから、多くの市町村子育て関係課において実際の取組にまでは結びついてはいないことがわかる。

2. 市町村の担当者の有無が、「幼保小の架け橋プログラム」の会議開催に関係していることが推測される。

◆設問4・設問6から

設問4で、幼保小連携に関する担当者が配置されているのは41%(11件)である。その82%(9件)の地域で、幼保小と行政の担当者による会議が開催されている。(設問6)